



【取組の概要】

- ・ユネスコスクールのESD活動を総合的な探究の時間に位置付け、「自然環境」、「国際・異文化理解」、「地域社会」の3つの分野を設定し活動を展開。
- ・「自然環境」では、志賀高原自然環境保全活動に参加し、植樹後のモニタリングを実施。「国際・異文化理解」では、コーヒーやチョコレートなどを素材にフェアトレードを広める活動を実施。「地域社会」では、地元の行政・福祉機関、企業、住民等と連携し、災害復興ボランティアや福祉活動を実施。

【取組の特徴】

- ・全校生徒が自分の興味関心のあるSDGsに関わる社会活動やボランティア活動に参加。従来から継続している取組と、生徒が主体的に設定する取組を組み合わせ実施している。
- ・SDGsを学ぶ中で、ボランティア活動等への参加を通じて地域のコミュニティ作りにも貢献している。

【関連リンク】

<https://www.nagano-c.ed.jp/inuwashi/index.html>



【COL (クリーンオリエンテーリング)】



全校生徒でグループに分かれ、文化施設や歴史的記念物を周りながらゴミ拾い活動を実施。
ユネスコスクール承認の土台となる活動。

【自然環境グループ】

-植樹活動 (ABMORI)



志賀高原の植樹活動及びモニタリングを実施。
混植・密植型植樹の成果を検証。

【国際・文化理解グループ】

-中西珈琲倶楽部～
-古着deワクチン～

フェアトレード等を通じて、児童労働や世界の格差・貧困問題で自分たちができることを学習。
この活動をきっかけに貧困を救う活動を生徒が主体的に見つけている。



【地域社会グループ】

-災害復興ボランティア～
-バラ公園冬囲い～



地域の社会福祉協議会等と連携し、水害復興や限界集落での除雪など実施し、地域の実情や課題を学んでいる。